

労働組合組織率の減少に歯止めをかける！

連合宮城

「2026組織拡大に向けた学習会」を開催！！

連合宮城は9月25日、「2026 組織拡大に向けた学習会」を開催し、各構成組織から40人（Web9人）が参加した。講師には、連合兵庫 廣澤茂之オルガナイザーをお招きし、生協現場から単組・労組、産別、地方連合会と歩んできた約30年の経験をもとに、「実践しよう！組織拡大！」と題して講演をいただき、組織化の具体的手法を伝授いただいた。

廣澤氏は産別時代の実績として、近畿の食品スーパーの組織化（コノミヤ約5千人、ハートフレンド約5千人など）を挙げ、家電量販店の統合事例では約200店舗を半年かけて訪問し、加入率 90%超でユニオンショップ協定を締結した経緯を紹介いただいた。一方で、「組合役員3人だけで活動する苦い経験もうつ病の一因になった」と述べ、結成後の定着・運営の重さを問い掛けた。

事例として、事業譲渡直前の病院で急遽新組合を結成し労働協約を締結した医療・介護分野や、労働相談から公園で結成大会を開いた運送業の小規模組合を紹介。決算書も公表し、シンプルな活動なら会費月500円程度で中小組合は持続可能と示した。地域ユニオンの産別移行（準備中を含め7組合）や、経営者協会・社労士会と連携した政労使共催セミナーなど、「オール兵庫」での組織化の取り組みを報告いただいた。

まとめで廣澤氏は、組織拡大のステップは、①第1段階として「自社内の非組合員（正社員以外・管理職・再雇用者等）を組織化する。まず身近な職場の未組織者を押さえ、組織の基盤を固める」。②第2段階は「関連・下請企業の組織化。自社の周辺に広がるグループ企業や取引先へ対象を広げる」。③第3段階は「未組織企業への訪問オルグであるが、自社の中から関連企業へ、そして未組織の企業へと、対象を段階的に広げることが必要だが、これにはオルガナイザーと連携した取り組みが必要である」とし、「労働組合は、職場の声を可視化し、対話を積み重ねる組織。共感が労使関係の未来をつくる」と指摘した。

学習会終了後にはアンケートを実施し、次のような意見が寄せられた。

- 「シンプルな活動・仕組化」への共感
- 大会議案書をA4表裏1枚にする、規約等を最小限にするなど、組合未加入者の目線に立った理解しやすい活動づくり
- 連記式加入届などで加入する雰囲気をつくる工夫
- 組織拡大は特別なことではなく、組織強化がそのまま組織拡大につながるという考え方
- シンプルな仕組化と共感力を大事にしたい



廣澤オルガナイザー



質疑応答

ふるさと北方四島を想う

「連合2026平和行動 in 根室」に参加しました!!

2026年9月5日(土)～6日(日)の二日間にわたり、北海道根室市において、「連合 2026 平和行動 in 根室」が開催され連合宮城より7名が参加した。

1日目の北方四島学習会では、北方領土返還要求運動連絡協議会事務局長であり、歯舞群島・志発島出身の元島民である児玉泰子氏より、「ふるさと北方四島への想い」と題して講演をいただいた。講演では、島での家族との暮らしや自然豊かな故郷の思い出、幼少期に経験した引き揚げの苦難について、元島民としての実体験を交えながら語られた。特に、「北方四島は家族と暮らした大切なふるさとである」という強い思いが伝わり、北方領土問題が単なる領土問題ではなく、そこに暮らしていた人々の人生や故郷そのものに関わる問題であることを改めて認識した。

2日目は、北方領土返還と日ロ平和条約締結を訴える平和ノサップ集会在納沙布岬・望郷の岬公園において開催され、全国の構成組織・地方連合会から計719名が参加した。主催者である、神保連合事務局長より挨拶があった後、元島民の古林貞夫さんより、「快晴の日には海の向こうに見える近くて遠い故郷が、一日も早く返還されるよう北方領土返還要求運動を継続してきたが、未だに返還は実現されず、墓参の道も閉ざされている。故郷に戻ることが叶わなかった同胞たちの墓前に良い知らせを報告できるまで、返還要求運動の灯を消すことなく取り組みを進めて、仲間や次世代への継承をお願いしたい」とのお話を頂いた。

○参加者（7名）

団 長	大黒 雅弘	連合宮城会長（U A ゼンセン）
	小玉 知子	連合宮城気仙沼地域協議会議長（U A ゼンセン）
	半沢 晃多	連合宮城仙南地域協議会（J A M）
	菅原 麗菜	連合宮城石巻地域協議会（J P 労組）
	菊池 彩希	連合宮城女性委員会（電力総連）
	佐藤奈津子	連合宮城事務局
事務局	富田 清和	連合宮城大崎地域協議会（電機連合）



● 北方四島学習会

日時 2026年9月5日(土) 13:30～16:30

会場 北方四島交流センター（二・ホ・ロ）

①「ふるさと北方四島への想い」

北方領土返還要求運動連絡協議会事務局長 児玉 泰子 氏

元島民 国後島出身 古林 貞夫 氏

②「ウクライナ情勢を見据えた、北方領土」

東京大学先端科学技術研究センター 准教授 小泉 悠 氏



● 2026平和ノサップ集会

日時 2026年9月6日(日) 11:00～12:00

会場 納沙布岬・望郷の岬公園

次第	主催者挨拶	神保 政史（連合事務局長）
	地元挨拶	須間 等（連合北海道会長）
	来賓挨拶	谷内 浩史 氏（北海道公営企業管理者）
		石垣 雅敏 氏（根室市長）
		山本 茂樹 氏（北方領土問題対策協議会理事長）
	来賓紹介	児玉 泰子 氏（北方領土返還要求運動連絡協議会事務局長）
	元島民の訴え	古林 貞夫 氏（元島民 国後島出身）
	特別報告(竹島問題)	澁谷 崇裕（連合島根中部地域協議会）
	ピースリレー	連合北海道 須間会長・連合沖縄 仲宗根会長
	集会アピール	小田桐丈浩（全道庁根室総支部）
	がんばろう三唱	浅野 康敏（連合北海道釧根地協会会長）

宮城県の最低賃金が引き上げられました！

1時間あたり60円引き上げられ **1,098** 円(時給)



さらに、深夜の時間帯(午後10時～午前5時)に勤務した場合は25%が加算され、1時間あたり

1,373 円(時給)

最低賃金は、働くすべての人に賃金の最低額を補償する制度です。

年齢やパート・学生アルバイトなどの働き方の違いにかかわらず、すべての労働者が適用となります。

